

地域活動研究会の研究テーマ

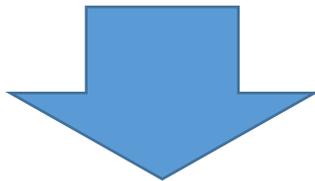
「多様な世代で持続可能な地域活動するにはどうしたらいいか？」

メンバー：白井、河西、久保田、田中、土屋、山本

対象(届けたい先)：地域デビューに興味を持っている個人

調査内容：個人の地域デビューのモデルケースの調査

- ・うまく参加者をリクルーティングできている団体をピックアップして、その方がどのように参加に至ったかを調査(できれば、途中で離脱した方の話も含めて)
- ・団体参加に至るまでの「ジャーニー」をパターン化
(トリガーになった原体験など、表面的なきっかけだけではなく動機を深掘りしていく)



- ✓ 個人の共感を引き起こすもの
- ✓ 行動変容を起こすもの
- ✓ 何か行動を起こしたいが躊躇している人の後押しをできるような情報
(これなら自分でもできる！ こうすればよいのか！)と勇気と気づきを与えられるもの

成果物のイメージ

趣味満喫デュアラー



サーフィンや農業などの趣味を楽しむために、よく通うエリアがあったが、拠点を持てより深く楽しみたい。

自然癒されデュアラー



とにかく都会の喧騒から離れて、自然に触れたり、のんびりした時間を過ごしたりして、癒されたい。心を癒したい。

ふるさとデュアラー



都会育ちで故郷と呼べる場所がない。もしくは自分や配偶者の故郷を大切にしたい。地元の人と交流したいという願望も。

ブレ移住デュアラー



いつかは田舎に移住したいと考えているが、地域コミュニティになじめるかなど、移住前に試してみたい。

のびのび子育てデュアラー



自然に触れるようなさまざまな体験をさせたり、多世代交流で、多様な価値観に触れるような、のびのびとした子育てをしたい。

地域貢献デュアラー



都会の職場での仕事で、自分でなくとも代替の効くように感じ、自己承認要求が満たされない。東京で培ったスキルを生かして、地方で地域貢献し、自分の存在意義を感じたい。

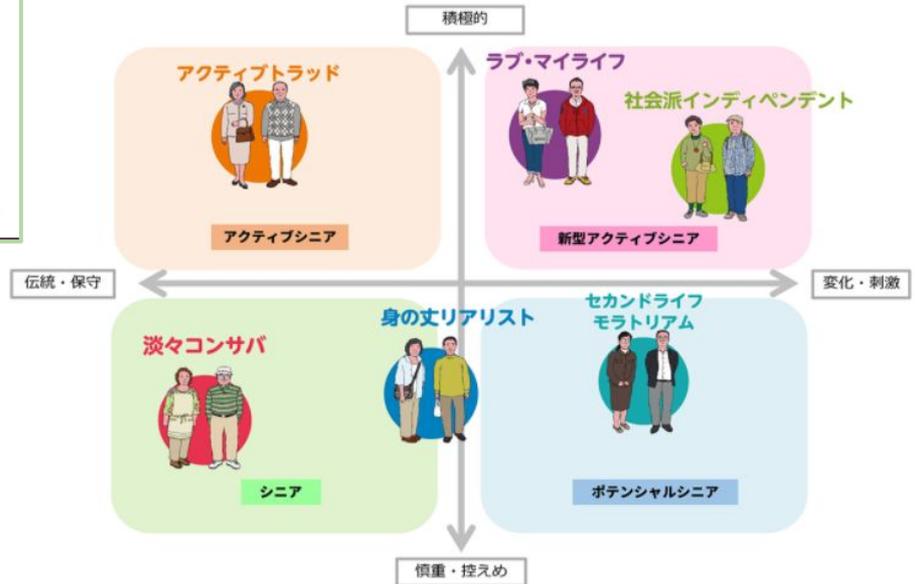
リクルートが、移住、二拠点生活者を「デュアラー」という造語によって命名し、彼らを目的別にタイプ分けをした。

https://www.recruit-sumai.co.jp/sumai/2019_dualer.html

ビデオリサーチが、考え方も行動も多様化・複雑化しているシニア層を理解するための新たな切り口として、“価値観”で分類したセグメント。

価値観は6タイプに分類され、それぞれを行動が積極的か控えめか、志向が伝統的・保守的な傾向か変化や刺激を好む傾向かという2軸4象限上にプロットしています。

<https://www.videor.co.jp/digestplus/title/2018/01/7717.html>



進捗状況

タスク	タスク内容	アウトプット	
①地域活動の 絞り込み	地域活動との言葉をチーム内で共通言語化した。 社会的テーマ活動に限定し、趣味・仕事は含まない。	私たちにとっての 「地域活動」とは？	P4
②地活ジャー ニーの仮説	メンバーの経験を元に、地域活動を始める前後で感じる 阻害要因と乗り越え方の仮説を定義した。	地活ジャーニー仮説 インタビュースクリプト	P7
③活動者への インタビュー	仮説から確認ポイントを導き、インタビュー。	インタビューシート	P10
④活動タイプ 定義と分類	インタビューワーカーのタイプを定義し分類。 タイプを網羅できるよう、候補者をリストアップ。	活動タイプ マトリックス	P12
⑤アンケート 定量調査	定性データに厚みを持たせるためのアンケート調査 (定量はとれたらとりたい)	③④を裏付けるデータ	
⑥最終成果作成	①～⑤の内容を元に最終成果物を作成	デュアラーのようなもの	

繰り返し



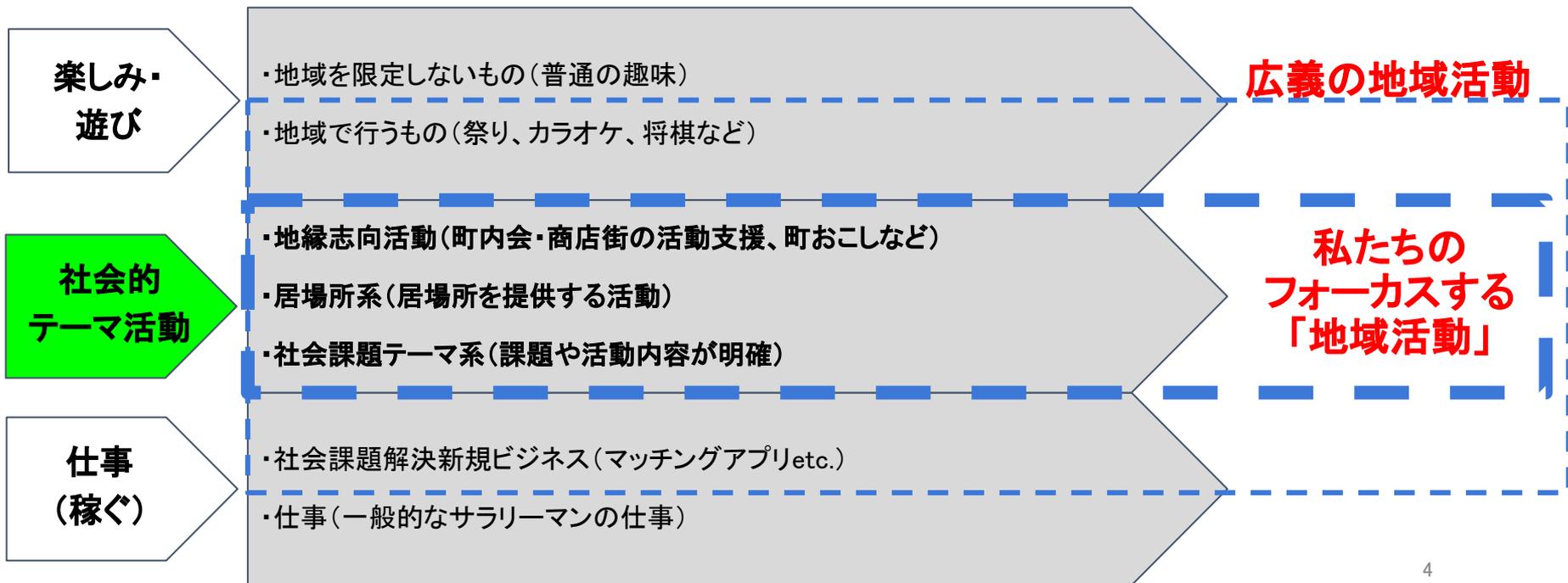
現在の進捗



① 地域活動の絞り込み

私たちのフォーカスする地域活動＝社会的テーマ活動

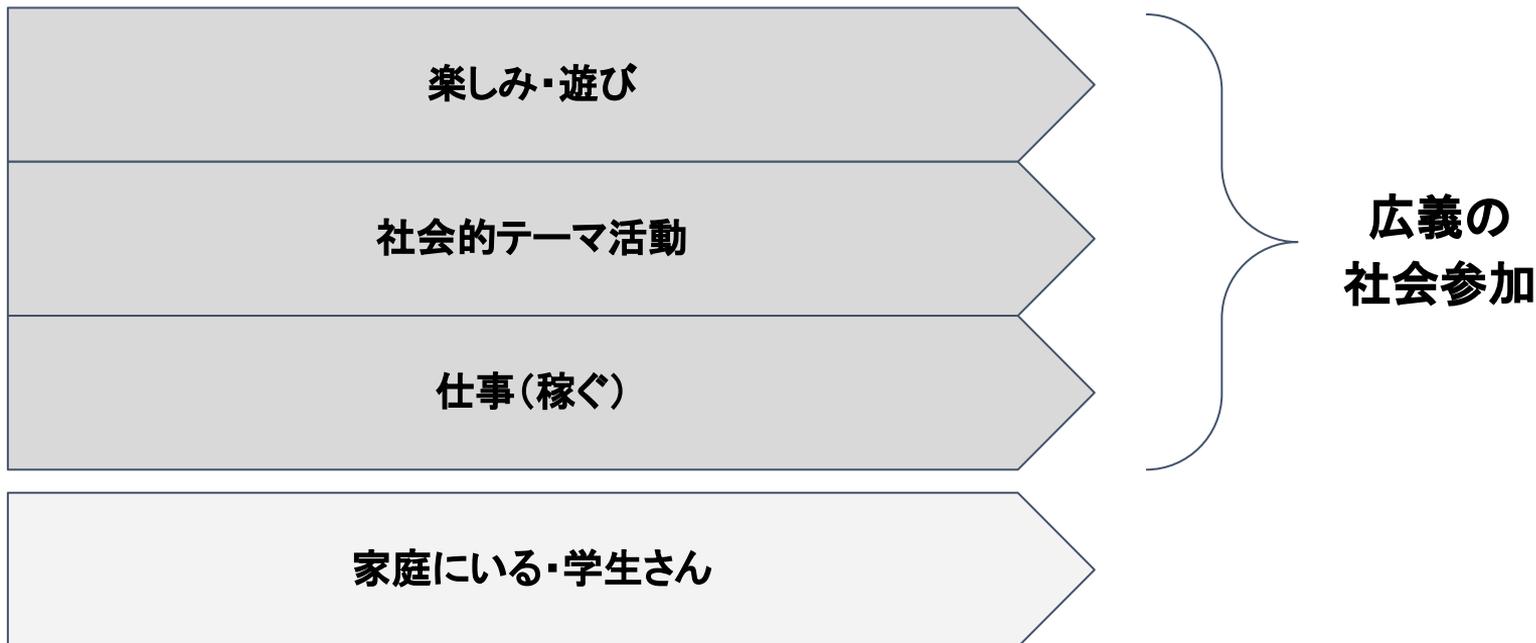
- 地域活動は広くとらえることもできる(各々の境界は曖昧)
- 当チームでは、調査プロセスとメッセージをシャープにするため絞り込んだ



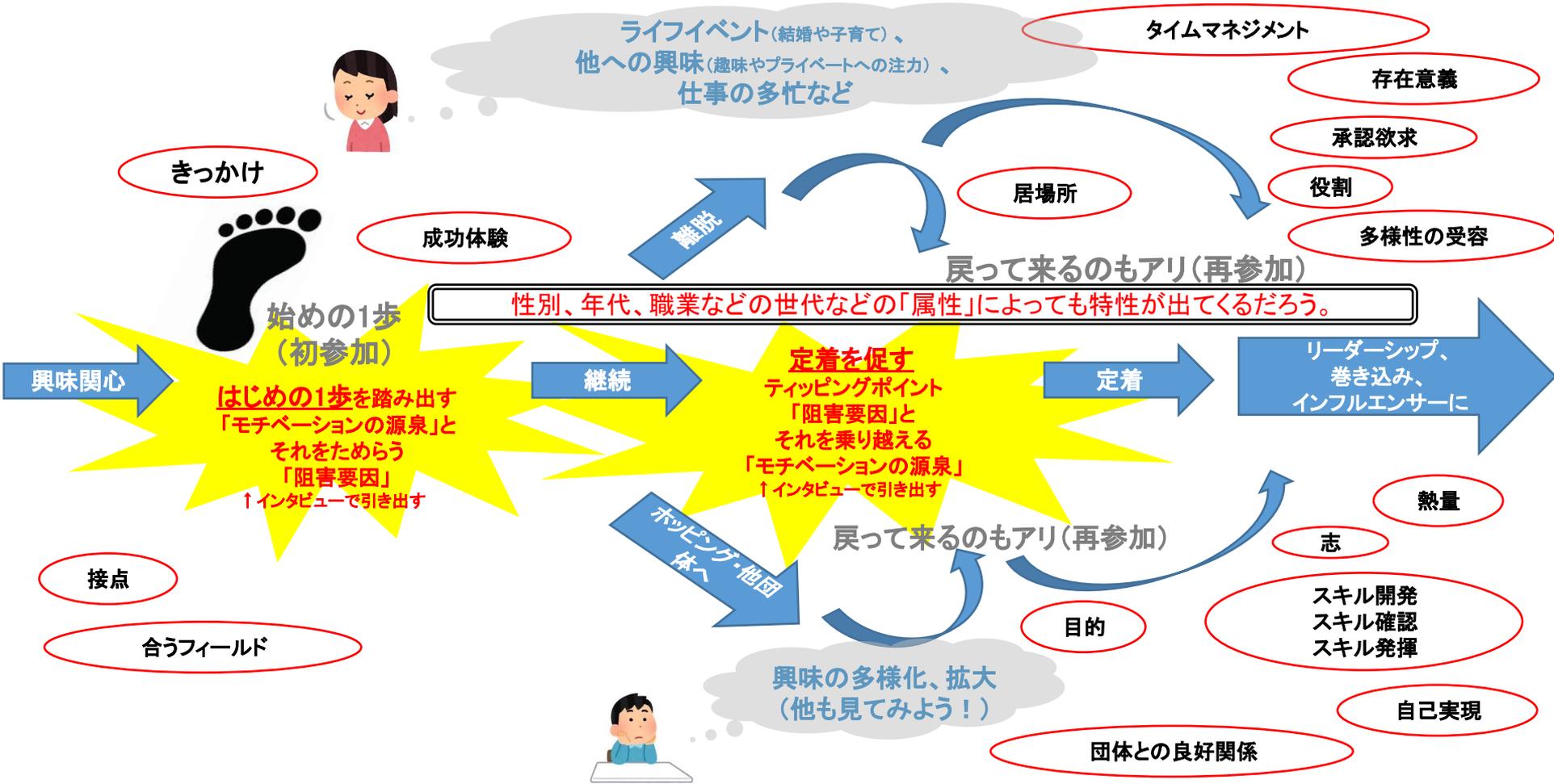
① 地域活動の絞り込み

1 時間の使い方を4つに分ける

- 上の3つの境界線は曖昧
- 人により、ライフステージにより、それぞれのウェイトは異なり、変化する



② 地域活動参加と継続のカスタマージャーニー(チームMTGディスカッションによる仮説)



③ 活動者へのインタビュー

「団体の活動内容によってあつまる人のタイプが異なるのでは？」という仮説のもと、①で定義した地域活動の絞り込み条件に沿って、インタビュー先を選定。

団体の分類		活動の特徴	タイプの仮説
地域活動	社会課題 テーマ系	テーマとする課題が明確だが、活動は多岐にわたる。場合によっては 高い専門性 が求められる。 (新宿食支援研究会)	地活と本職のリンク度が高い？
		活動内容が明確で 専門性はそこまで必要ない 。 (プラチナ美容塾、新宿Base)	色々なタイプがいるのでは？
	居場所系	集まる場所が明確 。 (ドリームタウン)	活動よりも場所を求める人が多いのでは？
	地縁志向 活動	商店街、自治会	

③ 活動者へのインタビュー

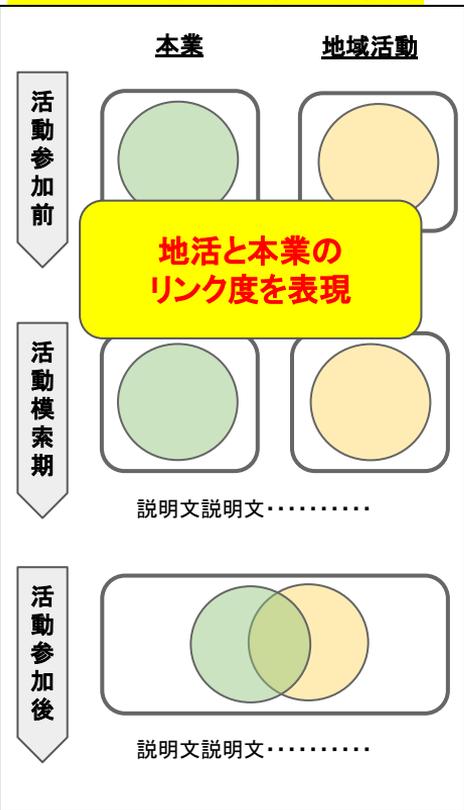
- インタビュー対象者
 - 地域活動(地活)に参加済みで活動を楽しんでいる方
 - 未経験者は対象外とした
- 目的
 - **楽しんでいる方の経験から、ベストプラクティスを抽象化する**
- ベストプラクティスを抽象化するための確認するポイント
 1. **本業と地活の相関性**(本業と地活が近しいか、そうでないか?)
 2. **本業、地活のモチベーション差異**(差異があるか、その理由は?)
 3. **地活ジャーニー**(活動に参加する前後の阻害要因とリターン)
 4. **モチベーションMAP**(承認欲求、利他心など、地活参加による影響を確認)

●●さんを一言であらわすなら、、、

ヒアリングまとめ Sample

共感をさそうために「あ、こんな人いそう」と思えるように平たい表現で、人物像を抽象化する

キャリアと地域活動の相関性



モチベーション

仕事におけるモチベーション

- ご本人の仕事におけるモチベーションの源泉・中核となるものを一言で説明

地域活動におけるモチベーション

- ご本人の地域活動におけるモチベーションの源泉・中核となるものを一言で説明

地域活動の変遷(地活ジャーニー)

■ 地域活動参加前

地域活動前はどんな方だったか。キャリアだけでなく生活様式や趣味嗜好、考え方など。デモグラフィックを中心にサイコグラフィックも記載。

- 阻害要因
 - 地域活動参加前の、地域活動に対する阻害要因、困ったことは何だったか。
- 乗り越え方
 - それをどうやって乗り越えたか。

**参加前後の
阻害要因と乗り越え方**

■ 参加後

地域活動参加後は、どのような方になったか、その変化の要因、その変化をしたことによる影響などはどのようなものだったか。ご自身で自覚していること以外に周りから言われること。キャリア感、価値観、ありたい姿など。

- 阻害要因
 - 地域活動を継続していく上での阻害要因、困ったことは何か。
- 乗り越え方
 - それをどうやって乗り越えたか、乗り越えているか。

モチベーションMAP

	本業	参加前	参加後
自己実現			
利得			
能力発揮			
学習・成長			
健康			
使命感			
利他心			
楽しみ・共感			
自己効力感			
承認・賞賛欲求			
地域・絆願望			
帰属志向			
居場所の確保			
言い訳・逃避			

モチベーションMAP説明

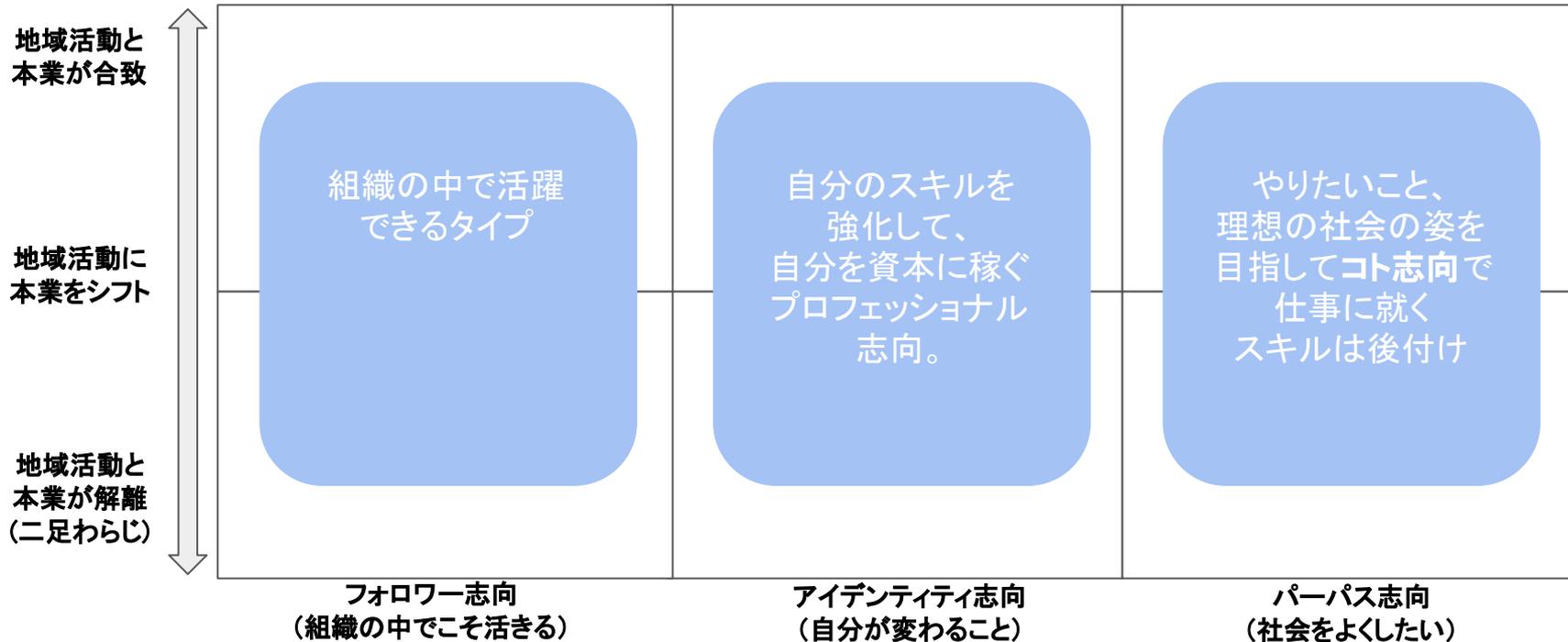
SAMPLE

分類	具体例
自己実現	活動することによって生きがいや生活の充実感を感じる。
利得	お金を稼ぐことができたり、将来のビジネスチャンスにつながる。
能力発揮	自分の能力を活動することで生かしたい。
学習・成長	活動を通じて人生や仕事の学び・経験を得る。スキルや人間的な成長をする。
健康	健康や体力を維持・強化したい。
使命感	そのことを自分がやらなければならないという信念や使命感を持っている。
利他心	他人を助けたい。社会をよりよくしたい。
楽しみ・共感	活動することが楽しい。活動内容が面白い。活動の意義に共感する。
自己効力感	活動することで自分が役立っており、役立つことができる人間だという実感を得られる。
承認・賞賛欲求	活動することで自分の存在を認められたい。活動していることを褒めてほしい。
地域・絆願望	住んでいる地域で何かしたい。地域の知り合い・友人を作りたい。
帰属志向	あるグループの中で役割をはたすことに充足を感じる。(ガツガツしない)
居場所の確保	決まって時間を過ごせる場所がある。組織の一員である。
言い訳・逃避	やっていないことで非難されたくない。自分の問題から目を背ける。

④ 活動タイプ定義と分類

本業と地域活動の相関性、当人のキャリアの方向性の2軸でタイプを分類

本業と地域活動の相関性

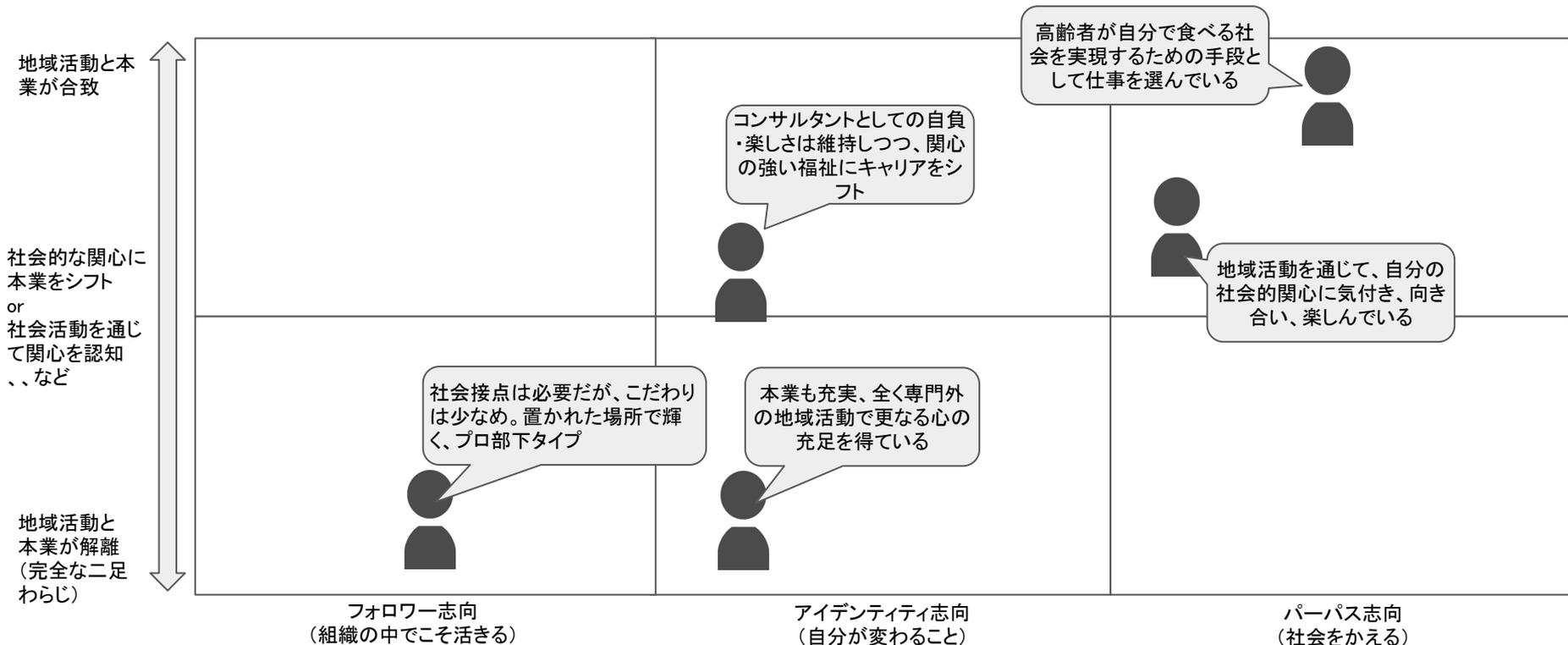


キャリアの方向性(目的軸)

④ 活動タイプ定義と分類

分類に沿って、網羅的にインタビューを進めている。

地域活動の関わり方や関心は多様だが、共通して言えるのは、会社・家庭とは別の社会接点の必要性を感じていること



このページ以降が、第二回目中間発表用の追加資料です。

12月9日中間発表用の追加資料

研究開始以降、本日までの整理

- インタビュー対象者の地域活動ジャーニーを精査した結果、以下が見えてきた
 1. **個人の志向には3つのパターンがある**
(フォロワー志向、アイデンティティ志向、パーパス志向)
 2. **地域活動と本人の経験の関係には2つのパターンがある**
(これまでの経験を活用した地域活動、新たな経験を模索・探索するための地域活動)
 3. **地域活動の積み重ねによるパターンの組合せの変化(個人の成長)が見受けられる**
(「アイデンティティ志向 & 新たな経験を模索・探索⇒パーパス志向 & これまでの経験を活用」など)

⇒活動を通じた個人の成長により、多彩な活動パターンの組合せが存在することが分かった

(注)これにより「タイプ」をより細かく特定することが必要となった。このため、これ以降用いる「タイプ」という言葉は、「パターンの組合せの変化」を意味するものとする。

活動パターン組合せの変化例1 会社人間シニア変革タイプ

これまでの経験を
地域活動で活用

在職中、組織の中では十分頑張って、実績もあげてきた。

背中押しポイント:

- ・自分は何もできない人間だと割り切って、まず活動に飛び込んでみる
- ・持っている地域や家族の絆を小さくても生かす
- ・個人として感謝される喜びがあることを知る

地域活動への習熟に伴い、活動に内在する効率性向上等運営面の課題を、現役時代に培った経験を生かして改善を図ろうとする

地域活動で
新しい経験を
模索・獲得

退職後、やりがい探しのため地域活動に参加。組織内の仕事とは違い、「個人として役割を果たし、個人として人に感謝される」ことにやりがいを感じる

背中押しポイント:

- ・活動を続けていれば、組織での経験を生かせる時もある

フォロワー志向
(組織の中でこそ生きる)

アイデンティティ志向
(道は自分で切り開く)

パーパス志向
(社会をよくしたい)

活動パターン組合せの変化例2 パーパス志向成長タイプ

これまでの経験を
地域活動で活用

地域活動で
新しい経験を
模索・獲得

フォロワー志向
(組織の中でこそ生きる)

アイデンティティ志向
(道は自分で切り開く)

パーパス志向
(社会をよくしたい)

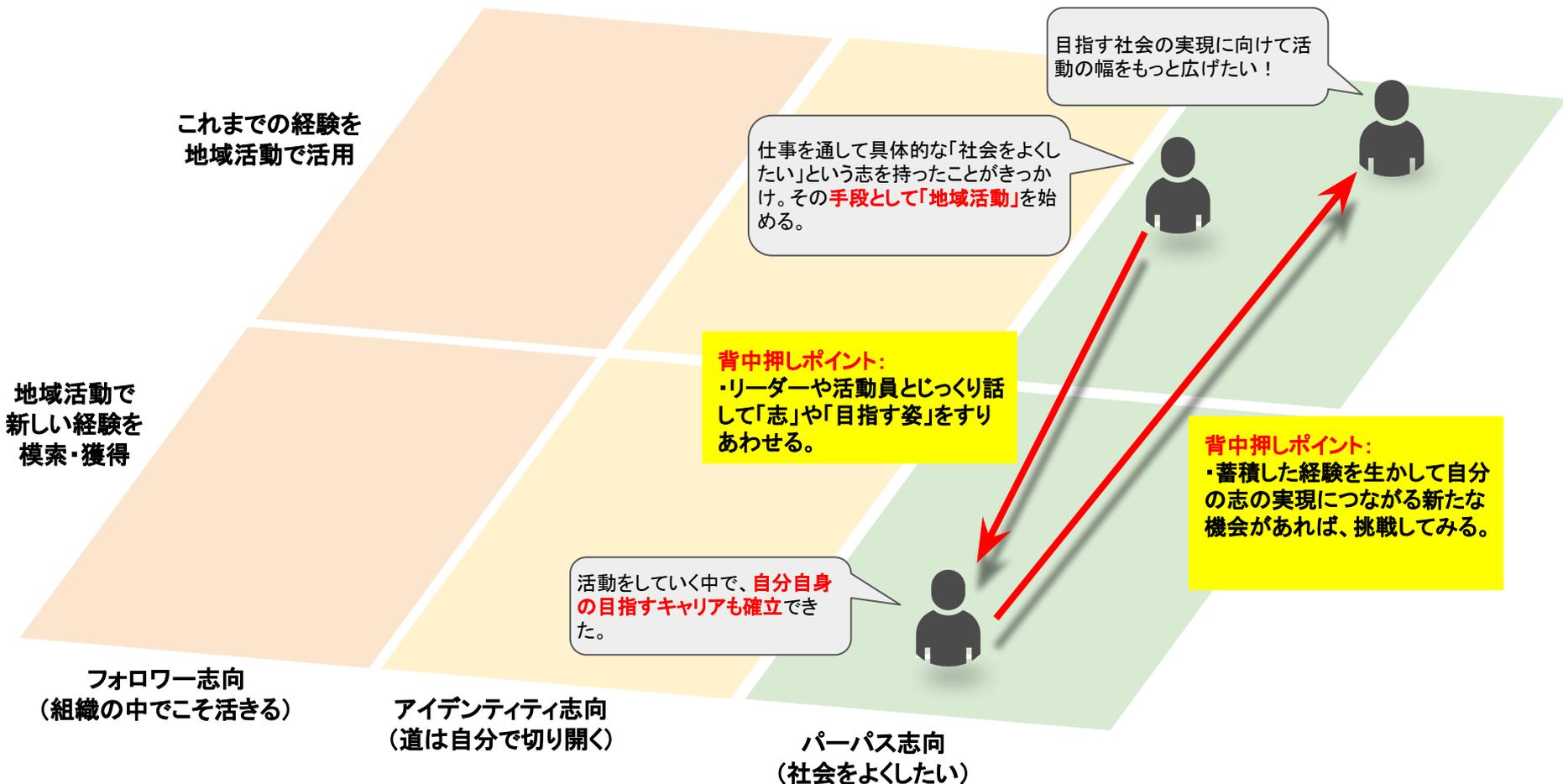
仕事を通して具体的な「社会をよくしたい」という志を持ったことがきっかけ。その手段として「地域活動」を始める。

目指す社会の実現に向けて活動の幅をもっと広げたい！

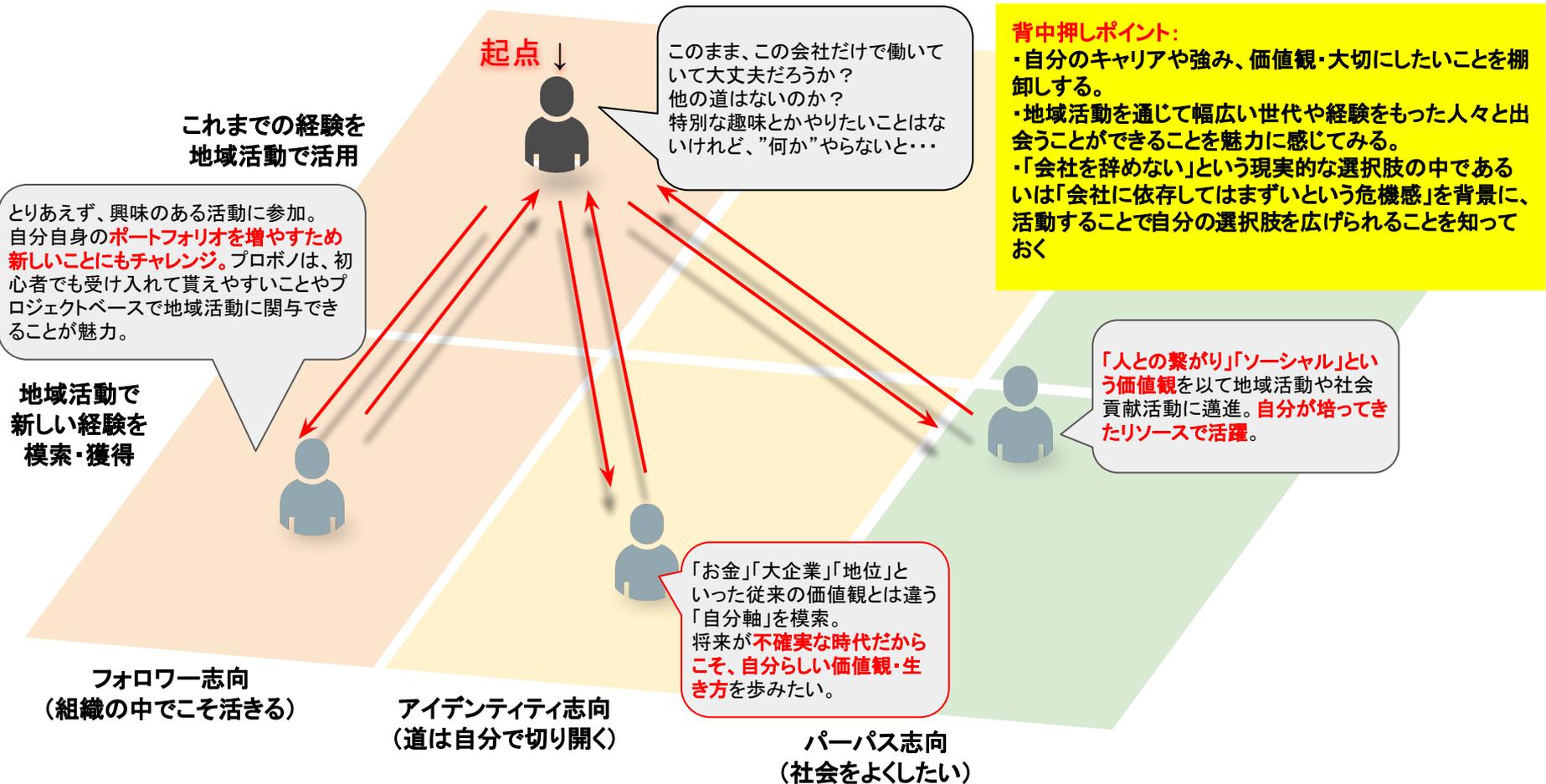
背中押しポイント:
・リーダーや活動員とじっくり話して「志」や「目指す姿」をすりあわせる。

活動をしていく中で、自分自身の目指すキャリアも確立できた。

背中押しポイント:
・蓄積した経験を生かして自分の志の実現につながる新たな機会があれば、挑戦してみる。



活動パターン組合せの変化例3 ミレニアル世代タイプ



代表的な変化例のまとめ

● 例1: 会社人間シニア変革タイプ

【きっかけ】退職後、会社の仕事に代わる自分のやりがい探しのため地域活動に参加

【成長】活動への習熟に伴い、会社時代の経験を活かし、活動そのもの改革志向に目覚める

【背中押しポイント】個人として感謝される喜びがあることを知り、まず活動に飛び込んでみる

● 例2: パーパス志向成長タイプ

【きっかけ】「仕事を通して社会をよくしたい」という志を持ち、手段として地域活動に参加

【成長】活動経験が積み重なることで、プレーヤーからさらに活動の幅を広げる志向を持つ

【背中押しポイント】リーダーとじっくり話し、その活動の志に共感することが大事

● 例3: ミレニアル世代タイプ

【きっかけ】現在の仕事を続けることへの不安・新たな生き方への願望から、自分を変える現実的手段として地域活動に参加

【成長】自分の志向に合わせた活動に参加し、経験を積むことで、経験の幅が一段と広がる

【背中押しポイント】自分の強み・大切にしたいことの棚卸し。多様な人々と出会うことの価値を認識

めざすところは一緒だけれど、登山道は人それぞれ

- 「地域の中で自分らしく生きる」というゴールは共通
- 一人一人がみんな、それぞれの登り方で、違う登山道を楽しんで登る



＜今後の方向性案＞

- ・タイプを個人の置かれた立場別に整理
（現役、主婦、退職者などデモグラフィック視点）
- ・タイプごとの背中押しポイントを、より共感（納得）が得られるよう言葉を磨く
（今回未掲載のタイプを含む）

◆アドバイスいただきたい点

- ・活動への参加を考える人により共感を呼び起こすには、アウトプットの見せ方としてどのような方法が考えられるでしょうか
- ・その際、どのようなコミュニケーション手段（媒体含む）が考えられるでしょうか

今後の予定

インタビューは継続しつつ、アンケート調査は省略して、まとめフェーズに移行

タスク	タスク内容	アウトプット
①地域活動の 絞り込み	地域活動との言葉をチーム内で共通言語化した。 社会的テーマ活動に限定し、趣味・仕事は含まない。	私たちにとっての 「地域活動」とは？
②地活ジャー ニーの仮説	メンバーの経験を元に、地域活動を始める前後で感じる 阻害要因と乗り越え方の仮説を定義した。	地活ジャーニー仮説 インタビュースクリプト
③活動者への インタビュー	仮説から確認ポイントを導き、インタビュー。	インタビューシート
④活動タイプ 定義と分類	インタビューワーカーのタイプを定義し分類。 タイプを網羅できるよう、候補者をリストアップ。	活動タイプ マトリックス
⑤アンケート 調査	定性データに厚みを持たせるためのアンケート調査 (定量はとれたらとりたい)	③④を裏付けるデータ
⑥最終成果作成	①～④の内容を元に最終成果物を作成	何らかのビジュアルイメージ

